

## — 行政目標に対する実施結果をとりまとめました —

神奈川県労働局(局長 久保村日出男)は、平成24年度行政運営方針において定めた行政目標に対する達成状況をとりまとめました。概要は以下のとおりです。

1. 就職率 目標 **20.9%以上** → 結果 **20.5%**

新規求職者の減少により紹介件数が減少したことから、就職件数も減少しました。

2. 雇用保険受給者の早期再就職割合 目標 **24.8%以上** → 結果 **25.5%**

求職者担当者制によるきめ細かな就職支援と就職支援プログラムへの誘導等が適切に行われたことにより目標を達成しました。

3. 求人充足率(常用) 目標 **24.0%以上** → 結果 **20.1%**

就職率と同様、新規求職者数の減少が影響し、減少しました。

4. 若年者雇用対策の目標

(1) ハローワークの紹介による正規雇用化フリーター数

目標 **14,807人** → 結果 **19,672人**

各ハローワークに専門相談員を配置し、フリーター等に対するきめ細やかな支援と、若年者トライアル雇用奨励金制度を活用して、正規雇用化を図ったことにより、目標を達成しました。

(2) 学卒ジョブサポーター及び新卒応援ハローワークによる正社員就職者数

目標 **5,200人** → 結果 **7,488人**

各ハローワーク窓口において周知を行うとともに、ジョブサポーターが各大学を積極的に訪問することで連携強化を図り、ジョブサポーター及び新卒ハローワークで個別の就職支援を行ったことにより、目標を達成しました。

5. 高齢者雇用対策の目標

(1) 65歳以上定年企業等の割合 目標 **50.0%以上** → 結果 **46.4%**

(2) 70歳まで働ける企業の割合 目標 **20.2%以上** → 結果 **18.4%**

(1)、(2)ともに前年と同様の割合であり、企業の雇用管理面の整備が難しい状況にあったと考えられます。

## 6. 障害者雇用対策の目標

(1) 障害者雇用率達成企業割合 **目標 45.1%以上 → 結果 45.1%**

(2) 就職件数 **目標 2,479件以上 → 結果 2,714件**

(1)、(2)ともに企業の障害者雇用の理解が進んだことと、平成25年4月1日からの法定雇用率引き上げ（民間企業は1.8%から2.0%）によって企業の障害者雇用が進んだことにより、目標を達成しました。

## 7. 「福祉から就労」支援事業の目標（生活保護受給者及び住宅手当受給者等について）

(1) 支援対象者数 **目標 3,010人以上 → 結果 1,955人**

(2) 就職者数 **目標 1,430人以上 → 結果 1,287人**

地方自治体から送り出された対象者数は目標値より低かったものの、個別に丁寧な支援を行ったことにより、就職率は65.8%と高い率となりました。

## 8. 第11次労働災害防止推進計画（5箇年計画）

平成24年（最終年）の死亡者数 **目標 45人以下 → 結果 46人**

平成24年（最終年）の死傷者数 **目標 6,000人以下 → 結果 6,689人**

平成24年5月末時点で死傷者数が平成23年の同時期と比べて大幅に増加（7.4%増）したことを踏まえ、6月に製造業など死亡災害が急増した業種を対象とした緊急的取組みを実施したほか、平成24年11月と12月を死亡災害撲滅強調期間と定め、例年死亡災害が増加する建設業を中心に労働災害防止対策の徹底を図る取組みを実施しました。

その結果、平成24年の死亡者数は46人となり、平成23年の54人から8人減少させることが出来ましたが、45人以下という目標は達成できませんでした。

なお、平成24年の死傷者数は、最終的には平成23年と比べて1.5%の増加となっています。

## 9. 男女雇用機会均等法に基づく指導の是正割合

**目標 90.0%以上 → 結果 95.6%**

男女雇用機会均等法の実効性を確保するため、雇用管理の中核である配置・昇進の性差別禁止にかかる指導を強化し、法違反に対しては是正指導を強力に進めた結果、目標を達成しました。